星霊狩り
SEIREIGARI
取り扱い説明書
FAMICOM FAMILY
任天堂
ファミリーコンピュータ™
HFC-V1

このたびは、ハドソンのファミリーコンピュータ・シリーズ「星霊狩り」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。

プレイされる前に、取扱いかた、使用上の注意等、この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しい使用法でご愛用ください。なお、この「取扱説明書」は大切に保管してください。

目次

ノベル・ウェア・AVG
「星霊狩り」とは!?

「星霊狩り」はノベル・ウェア・ＡＶＧという新しいジャンルのＡＶＧだ。どこが新しいのかというと、ゲームがまるで冒険小説のページをめくるかのようにストーリーが進行し、冒険の世界にのめりこんでいくんだ。

それを可能にしたのが、原作に「ハルマゲドン黒書シリーズ1～3」（講談社）「一万年の悪夢」（祥伝社）の中島渉、原画に「重機甲兵ゼノン」（小学館）の神崎将臣という超強力スタッフ。

さらにダイナミックなアクションシーン、迫力満点のバトルシーン、ストーリーを盛り上げる膨大なグラフィックそしてサウンドなど、ＡＶＧの世界に新しい世界を拓いたノベル・ウェア・ＡＶＧ「星霊狩り」で、キミも時空間を超えた超体験をしてほしい。

ゲームストーリー

それは、ミウの家で起こった。

その日、ミウの16歳の誕生日を、彼女の同級生のミチムネとミウの祖父が祝っていた。

親がわりにミウを育てたおじいさんは、

「これでミウもりっぱな大人じゃな。いつでも嫁にいけるぞ、のう、ミチムネ、ふぉっふぉっふぉっ」と上機嫌！

3人にとって、平和そのもののバースディパーティーだった。

と、そのときだった。あたりが急に暗くなり、そしてぶきみな声が響いた。

「フッフッフッ、久しぶりだな」

暗闇から巨大な顔が浮かんだ。

「き、きさまはローゼンクロイツ！まさか生きていたとは……」

おじいさんの顔から血の気が失せていった。

「私がこの日を忘れるわけがなかろう。100年もの間ずっと待っていたのだ」

ローゼンクロイツと呼ばれたその顔は言った。

「きさまは、ミウを使ってあの力を手に入れるつもりじゃな！」と、おじいさんが叫んだ。

「フッフッフッ、そういうことだ。娘はもらっていくぞ！」

そういうと、ローゼンクロイツはおじいさんを倒し、ミウを連れ去ろうとした。ミチムネはそれを阻止しようとしたが、逆にローゼンクロイツに返り討ちにあい、気を失ってしまった。

ミチムネが気がついたのは病院のベッドの上だった。彼はこれまでに起こったことを考えてみた。が、ますます謎が深まるばかりであった。

しかし、ここでミチムネはこの謎のカギを握ると思われる草野教授と巡り会う。そして、「キミには秘められた力がある。その力を自覚めさせればすべての謎は解き明かされる」と教授はミチムネに言った。

果たしてこの男は敵か？　味方か？が、それを詮索する前にミウを助け出さなければ！

ミチムネは、何かとんでもない事件に巻き込まれてしまったことを直感した。

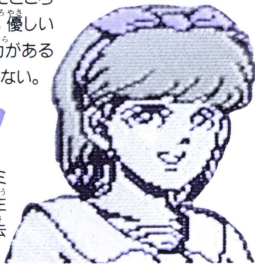
そして彼は、草野教授とともに謎の解明と未知の敵に向って旅だった、愛する者を救うために……

キャラクター紹介

ミチムネ

このゲームの主人公。ワルぶったところもあるが、本当は勇気あふれる心優しい少年である。彼には秘められた力があるらしいが、本人はそれに気づいていない。

ミウ

ミチムネと同級生の明るい女の子。ミチムネに想いを寄せている。しかし、誕生日に謎の怪人ローゼンクロイツに連れ去られてしまう。

おじいさん

ミウの祖父。しかし、過去にローゼンクロイツと何か確執があるようだ。なぜかミチムネを自分の子供のようにかわいがっていた。

草野教授（くさのきょうじゅ）

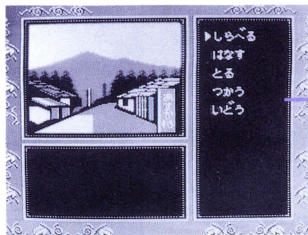
ミチムネの秘められた力やローゼンクロイツについて何か知っているらしい。彼は敵か？味方か？

ローゼンクロイツ

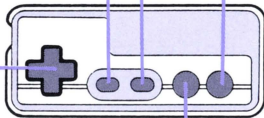
ミウをさらいおじいさんを殺し、世界を手に入れようとしている謎の怪人。

画面の説明

メッセージウィンドウ

(選択したコマンドから得られる情報はすべてここに表示されるんだ。よーく読んで見落とさないようにしよう)

コマンド表示

(マークを移動させてコマンドを選択する)

コントローラーの使い方

コマンドの説明

しらべる

今いる場所を調べるときに使う。1つのものを調べることによって、新しいものを発見することもある。どこでも、よーく調べてみよう。

とる

何か発見しても、とらないと持つことはできないからネ。持てそうなものがあったら、とってみよう。

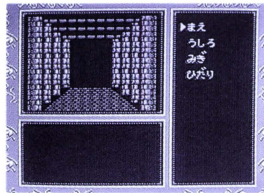
つかう

持っているアイテムをつかうときのコマンドだ。うまくアイテムを使うことも大切なのだ。

はなす

人と話すことによって、いろいろ重要な情報を得ることができる。同じ相手でも何度か話すと、これまで聞かれなかった新事実がわかることもあるぞ。

いどう

情報を入手したり、新発見があると移動できる場所が増えてくる。時には何度でも同じ場所に足を運ぶことも必要だぞ。

森やダンジョンのいどう法

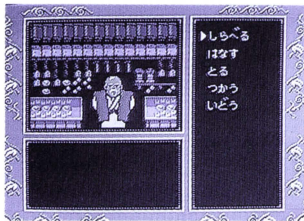
冒険していくと、時々森やダンジョンの中にはいらなければならないことがある。ここは3D迷路となっている。移動法は「まえ」「うしろ」「みぎ」「ひだり」のコマンドで行なうんだ。「まえ」に進んで戻るときは「うしろ」、「みぎ」に進んで戻るときは「ひだり」コマンドだから覚えておこう。

また、森やダンジョン内には怪物(クリーチャー)が住んでいることがある。戦術を誤るとやられてしまうこともあるから気をつけるのだ。

コンティニュー

コマンド選択のときにセレクトボタンを押すと、メッセージウィンドウにパスワードが表示されるんだ。これを控えておけば、万一電源が切れてしまったり、怪物にやられてしまっても、パスワード地点からプレイすることができるんだ。だから、ある程度進んだらパスワードを控える習慣をつけるようにしようネ。それから戦闘中にはパスワードは表示されないから注意なのだ。

ゲームの進めかた

AVGの基本は1つ1つ謎を解き明かしながら進んでいくことなんだ。そのためにはどうすればいいかというと、まずよく調べる、そして人がいたら話をして情 報を収 集する、メッセージはしっかり読む、アイテムを探すことも大切だ。

1度で何もなかったとしてもあきらめてはいけない。何度でも調べ、聞くことによって新しいものを発見できることがよくあるから。アイテムを探し出したら、取ることを忘れないように。持っていないと役に立たないからネ。そして、アイテムを取ったら適所で使うんだ。

ゲーム スタート

①プロローグでローゼンクロイツにやられたミチムネは、病院のベッドに横たわっていた。まずあたりをしらべてみよう。ほら看護婦さんが出現しただろう。そしたら看護婦さんと話す。ただし1回だけじゃだめ。何度も話をするんだ。

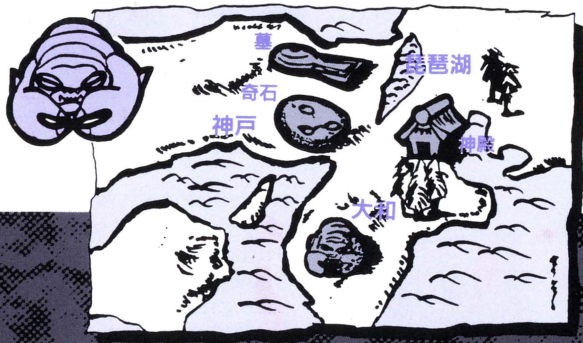
②看護婦さんから聞いた大学教授の部屋へ移動したところ。この男と話をするとローゼンクロイツについて何か知っていそうであることがわかる。

③そして彼と冒険をする運命に。出発のとき、彼はミウがいつも身につけていたロケットを受け取った。最初のアイテムだ。

④そしてついたのが古い館の前。いきなり中に入ろうと移動してもダメ。まず、調べてみなければ。ドアを調べてカギがかかっていないことを確認したら中に入るんだ。

さあ、これから先はキミの英知と行動力で謎を解き明かしていくんだ。

ワールドマップ

神戸から始まった冒険の旅は、やがて古代ミステリーゾーンへとタイムスリップしていくのだ！

使用上の注意

①プレイ後はACアダプタをコンセントから必ず抜いてください。
②精密機器ですので、極端な温度条件下での使用や保管および強いショックはさけてください。また絶対に分解しないでください。
③カートリッジの端子部に手で触れたり、水でぬらすなどして汚さないようにしてください。故障の原因となります。
④シンナー、ベンジン、アルコール等の揮発油でふかないでください。故障の原因となります。
⑤テレビ画面から、できるだけ離れてゲームをするようにしてください。
⑥長時間ゲームをするときは、健康のため約1時間ごとに10分から20分の小休止をしてください。
⑦このゲームは、キミ自身で秘密を解いていくゲームです。だから、その秘密を教えてもらったり、逆に教えたりするのはルール違反。ハドソンでも内容に関する質問には答えませんから、自分の力で解いて感動のエンディングまでたどりついてください。

本　社　〒062 札幌市豊平区平岸3条5丁目1番18号 ハドソンビル TEL 011-841-4622
東京支社　〒162 東京都新宿区市谷田町3丁目1番1号 ハドソンビル TEL 03-260-4622
大阪支店　〒542 大阪市中央区東心斎橋1丁目1番10号 大阪料理会館ビル5階 TEL 06-251-4622
営 業 所　札幌・名古屋・福岡

HFC-V1